

社会

令和5年度 多摩市立東落合小学校 授業改善推進プラン 教科名

社会科における指導の重点（身に付けさせたい力） ※学習指導要領に照らし合わせて

ア 知識及び技能

イ 思考力、判断力、表現力等

・資料から必要な情報を読み取り、まとめること

・社会的事象について考えたことを、説明すること

児童・生徒の学力の状況（課題）	授業における具体的な手だて	手だての実施時期	成果検証（2月）
中学年 <ul style="list-style-type: none"> ・地図帳や各種の具体的資料を通して、必要な情報を調べまとめる技能に課題がある。 ア ・社会的事象について、相互に関連付けて考える力に課題がある。 イ ・学習したことを自分の生活と関連させて考えたり、自分にできることを想起したりすることに課題がある。 その他 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が読み取りやすい資料を準備し、全体で読み取り方やまとめ方を確認する活動を取り入れる。 ・複数の事象を関連付ける機会を増やし、図などに示す活動を設ける。 ・単元の中で自分事として捉える課題を設定し、主体的に考えられるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎単元 ・毎単元 ・毎単元末 	<ul style="list-style-type: none"> ・地図帳を使って、地名を探す、グラフを読み取る等の学習を取り入れた結果、読み取りに一定の成果は得られた。まとめ方はまだ十分ではない。 ・関連付ける機会を増やしたことで、事象の関連性を考える力は少しずつ定着してきたが、図に表すことは十分ではない。 ・自分事として考えられる児童が増えたが、まだ十分でない児童もいるので、手だてを継続していく。
高学年 <ul style="list-style-type: none"> ・日本の国土利用や歴史に関する言葉の知識習得に課題がある。 ア ・社会的事象について学んだことを基に考え、表現することに課題がある。 イ 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の始めの5分間又は終わりの5分間に、ワークシートやクイズに取り組む機会を設け、知識の定着を図る。 ・学習した内容を生かす時間を設定し、ペアやグループで対話するなど、学習過程を工夫・充実する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎単元 ・毎単元末 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の始めと終わりに、授業内容を振り返り、単元テストの結果から、知識の定着が見られた。 ・学習した内容を踏まえて、社会科新聞やクイズを作成するなど、学習過程を工夫したことで、児童の表現力が高まった。

■「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた一人一台端末等 ICT の効果的な活用について

タブレット端末を用いて配布された資料を、児童一人一人が手元で操作しながら情報収集をしたり、思考したことや理解したことを、タブレット端末を使用して共有したりする時間を設定する。

■学習の見通しをもたせることや学習を振り返ることの工夫等、「学びに向かう力」の育成に向けた取組について

単元を通じた学習問題を作成した後、予想をもとに、学習計画を作成し、最後に学んだことを振り返る時間を設定する。いくつかの単元の中で、自分の生活や地域と関わりのある事柄について調べたり考えたりする時間を設ける。